

オオチャイロハナムグリ コウチュウ目コガネムシ科

Osmoderma opicum Lewis

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

幼虫の発生場所が樹洞という特殊な環境であるため、局所的に生息し個体数も少ない。

形態

体長は23~32mmの大型のハナムグリ。体色は黒褐色でつやがある。オスはメスと比べ、前胸背板は広く、中央の2縦隆条は強く稜状となる。メスの腹端は突出する。

国内分布

本州、四国、九州、屋久島。

県内分布

白山市。白山山系の標高450~2,000mの地域に生息する。

生態

ブナ帯からダケカンバ帯に生息する。成虫は7~8月頃に現れ、樹洞内やその周辺に止まったり、飛翔している。また、成虫の周囲には、強いジャコウの独特の臭気が漂っている。幼虫は樹洞の腐朽部を食し、成虫になるまで2年を要す。本県において本種が確認されている樹種は、トチノキ、ブナ、カツラ、ミズナラ、キリ、ヤマナシ、サワグルミ、コメツガと多種にわたっている。

生息地の条件

幼虫の発生場所となる大木の樹洞が多く存在する広大な原生林。

生存の危機

ブナ帯下部の450mから900mの生息地では、本種の繁殖可能な樹洞のある大木は減少していて、個体数は激減している。広大な原生林の保全が重要である。(A)

特記事項

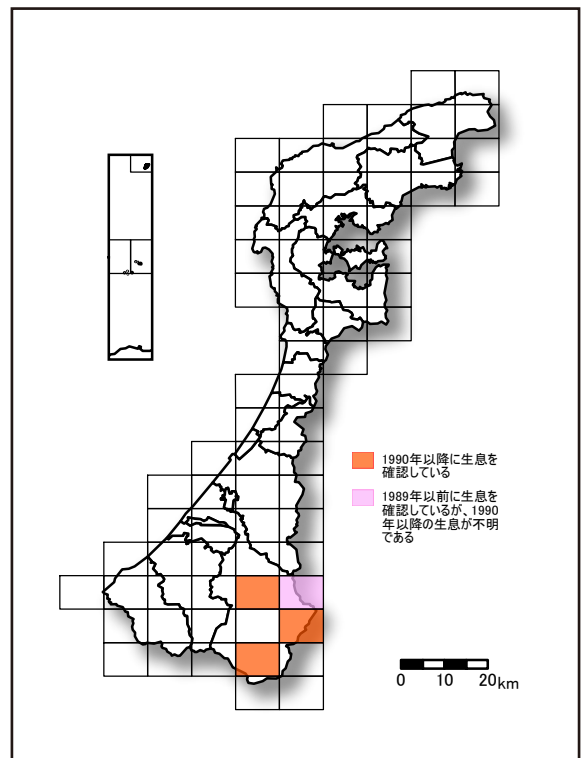
生息地の大部分は白山国立公園内に位置する。

参考文献

高羽正治 1998. コウチュウ目コガネムシ科. 石川県の昆虫: 147-152. 石川県自然保護課.



写真提供者: 富沢章



県内の分布